

ののうちまこと

ののうちまこと VOL.18

後援会だより—January

発行日:2016年1月29日

発行: ののうち誠後援会
〒699-0108 松江市東出雲町出雲郷1670
電話・FAX 0852-52-3117
Eメール nonouchi@mable.ne.jp

ブログで日々の活動を紹介しています。フェイスブックもやっています。
<http://www.mable.ne.jp/~nonouchi/>

平成28年も 皆さんの幸せを求めて

平成27年は、松江城天守の国宝化と尾道松江線(中国やまなみ街道)の全線開通が最大のニュースとなりました。平成28年は、4月に新総合体育館がオープンし、「松江市まち・ひと・しごと創生人口ビジョン・第1次総合戦略」や中核市移行などの新たな施策が本格展開される年になることでしょう。

一方、東出雲町を中心にしたことでは、消防東出雲出張所が廃止され4月から八雲町の南部分署に統合されます。また8月には合併6年目を迎えます。このことから、平成29年度から不均一課税の対象だった軽自動車税が松江市全体の税率となり、市街化区域には都市計画税が新たに導入される予定です。

さて、野々内は、日々の議会活動や行動をホームページやブログで、最新の情報をお伝えしています。昨年1月からの総訪問者数は1万件を数え、現在の総訪問者数は3万件を越えました。ぜひご覧ください。

本年も大きな課題が既にいくつか予見できますが、市民の皆さんの幸せを求めて、提言や課題の解決のために、引き続き頑張りたいと思います。お気軽にお声をお寄せください。



松江市総合計画条例や 補正予算を可決

12月松江市議会

12月18日に17日間の会期を終えた松江市議会12月定例会では、条例案では松江市総合計画条例の制定、松江市営駐車場条例の一部改正など18件、また市の施設の指定管理者制度の

更新・導入についての22件も提案されました。一方、補正予算での一般会計は16億4千万円余の増額補正で、八幡町の鉄工団地用地の売却見込みの増に伴う取得費や私立保育所運営関連経費などが計上され、提出された議案は全て可決・承認されました。なお、補正予算中の市有地の売却に関する処置について、付帯決議案を多数決

で可決しました。

また、議員提出議案として「児童虐待の防止に向けた体制強化を求める意見書について」と「TPP協定交渉の大筋合意に対する国内農林水産業への対策強化を求める意見書について」を議決しました。

(予算金額や提出議案の詳細は市ホームページや市報等をご覧ください)

最近の活動から

市交通安全総決起大会で祝辞

11月13日に、「第45回松江市交通安全総決起大会」が松江市総合福祉センターで、関係者約200名を集めて開催されました。

松江市ではここ数年、交通事故の発生件数や傷者数は減少傾向にあるものの、死者数の確実な減少には至らず、全死亡者に占める高齢死者の割合も著しく高い水準で推移しており、憂慮すべき交通情勢が続いているということです。野々内は、他の公務のために出席できなくなった議長の代わりに、来賓代表として挨拶をさせていただきました。



交通安全意識を高めようという挨拶

地域振興や地場産業振興を学習



尾道市では水陸両用飛行機を視察

1月12日と13日は、所属会派の研修で、広島県尾道市と愛媛県今治市を訪れました。今年4月から尾道市浦崎町を拠点に遊覧飛行事業を開始する「株式会社せとうちSEA-PLANES」を視察。また、愛媛県今治市役所では「今治タオルプロジェクト」を研修しました。今治市の製造品出荷額は松江市の約10倍、吸水性の独自の品質基準をクリアした商品のみを認定するという今治タオルは今治市が誇る地場産業です。地域振興や地場産業振興など新春にあたっての有意義な勉強ができました。

福島県で震災被災地を訪問



仮設の復興マーケット

11月19日と20日の両日、福島市での「第10回全国市議会議長会研究フォーラムin福島」へ参加したあと、東日本震災被災地の視察のため、南相馬市といわき市を訪問。両市も、地震や津波、福島第1原子力発電所事故によって被災し、壊滅的な被害を受け、多くの犠牲者を出しました。

除染作業が今も続く農地や、土地区画整理事業によって整地・盛土作業が進んでいる現状を目の当たりにしました。震災復興はまだまだ道半ばであり、国全体として被災地を支えなければならないと強く感じました。

後援会のお知らせ

ののうち誠後援会にご加入いただき、一緒にまちづくりをしていきましょう。この度後援会だよりvol.18を発行いたしましたので、ご高覧いただけますようお願い申し上げます。

◆後援会事務局◆

〒699-0108 松江市東出雲町出雲郷1670
TEL・FAX / 0852-52-3117
Eメール nonouchi@mable.ne.jp
<http://www.mable.ne.jp/~nonouchi/>

ののうち誠 プロフィール

昭和25年生まれ(現在65歳)出雲郷小学校→東出雲中学校→島根県立松江農林高校→東出雲町役場就職(平成23年3月に町参事を最後に退職)→平成23年8月松江市議会初当選、平成25年4月2期目当選



▶ ホームページ、
ブログはこちら

一般質問

野々内は、12月定例市議会でも連続17回目の一般質問を行なっていました。



Q 元気な高齢者を増やす取り組みについて
日常的な活動が出来る身近な居場所づくりの仕組みを作るべきではないか

介護保険制度は、高齢者数と要介護者数の増大によって、今後自治体財政を大きく硬化化させることが考えられます。そうさせないためにも、元気な高齢者を増やし、介護保険施設や医療施設から遠ざける仕組みが今こそ大切であると考えます。

介護予防は習慣づける毎日の機会提供が重要だと考えます。近所単位での居場所づくりや健康づくりのための機会づくりについて伺います。
井田健康福祉部長 身近な介護予防事業「なごやか寄り合い事業」は全

自治会の約6割で実施されています。この事業に未参加の人は参加した人に比べて2年後に要介護度が悪化するリスクが24倍になるという結果が出ており、介護予防に非常に有効だと考えています。

今後も本事業を地域における介護予防事業の中心と位置づけ、全市に拡大を図りさらには地域の皆さんの協力を得て身近で日常的な活動となるよう、開催回数や場所の増加など、きめ細やかな支援をしたいと考えています。また、委託



東出雲町の介護予防拠点施設・東出雲おちらと村

実施の介護予防事業は、委託期間終了後も引き続き民間事業者で自主的に事業を展開していただいています。



意東川も浚渫が必要

す。地方創生が政策の柱となる中で、公民館を見直す機運は今後高まると推測しますが、本市の公民館の拠点機能の考え方、また、東出雲町の小学校区に機能を残す考え方について、お尋ねします。
清水教育長 公民館が担う役割は今後ますます重要になると考えています。本市が進めている共創のまちづくりや、地方創生に向けた政策展開でも一翼を担うものと期待をしています。

旧東出雲町の公民館は、1館体制と公設自主運営方式への移行を進めたいと思っています。そのためにも、地元の皆様とは今後とも十分話し合いを行っていききたいと考えています。

Q 河川の浚渫について
災害を未然に防ぐためには、定期的な河川の浚渫が必要であり、その考えを問う

本市の中小河川は、豪雨の際は急激に水かさが増し洪水の危険が迫りますが、河川の中に流木や堆積土砂があれば危険が増幅されます。災害への備えとして、定期

Q 農業用施設の整備について
多面的な農業用水確保の支援を行い、後継者の負債リスクを減らす考えはないか問う

農業用水の確保のための井堰いせきの多くは、戦後間もなくに出来たもので、4分の1が老朽化している現状です。一方、後継者対策や農家負担を考えると、大規模な事業規模での井堰の更新は困難な状況で、小単位での振興策が今こそ必要だと痛感しています。井堰の改修には県や市の更なる支援が必要です。汲み上げポンプや掘りぬき井戸による用水確保にも制度を創設するなど、多面的な支援が必要です。制度創設や制度改正に取り組む考えはないか伺います。
矢野産業観光部長 農地維持のためにも、10年



老朽化が進む井堰(東出雲町内の意宇川)

先を考える
と、農地の持続的な活用を今後も続けて、そこに農業用水を

市への観光客が増加していることを、うれしく思っています。このたびの好機を逃さず、スピード感を持って積極的に媒体を用い、来訪の動機づくりなど対応すべきだと思いますが、現在の対応状況と今後の予定について伺います。

小川都市整備部長 市管理の河川は、土砂の堆積状況を調査の上、必要に応じて浚渫を行っています。県管理河川には以前から要望を行っていますが、県からは、河川内に著しく土砂が堆積する箇所、または背後地に家屋等があり出水により甚大な被害が予想される箇所から、予算の範囲内で優先順位をつけて実施をしているとの回答を受けています。引き続き県に対して要望を行う考えです。

Q 松江市の観光戦略について

好機を逃さずスピード感を持った観光戦略を立てるべきであるが、取り組みを問う

松江城天守の国宝化によって全国的に本市への注目が集まり、本



国宝となった松江城天守

きちんと確保することが基本だと思っています。今後、粘り強く地元説明会を行って、理解を得ながら、先を見据えた水田経営をにらんで対策を一緒にならって考えたいと思っています。

Q 公民館と地方創生について

地方創生に向けた人づくりの中核を公民館が担う取り組みを進めるべきである。本市の公民館の拠点機能の考え方、東出雲町の小学校区に機能を残すことを問う

高齢化に伴う人口減で、公民館の役割を見直す動きが文部科学省から出ている一方で、公共施設適正化計画の素案では、東出雲町内の4公民館も統合検討施設リストに挙げられています。

共創にも通じる活動が展開され、地域リーダー育成や地域活動の拠点となっている公民館。平成19年の公民館制度の計画は東出雲町の合併前であり、計画の見直しをする必要があります。公民館という名前はともかく機能は必要で

光プロモーションに取り組んでいきたくて考えています。

2月議会予定

- 2月24日(水) 本会議(会期の決定、委員長報告・質疑、討論、採決、提案説明、予算特別委員会設置、予算特別委員会)
- 29日(月) 一般質問
- 3月1日(火) 一般質問
- 2日(水) 一般質問・議案質疑・委員会付託
- 3日(木) 予算特別委員会
- 4日(金) 総務委員会・予算特別委員会
- 7日(月) 委員会総務分科会
- 8日(火) 教育民生委員会・教育民生分科会
- 10日(木) 経済委員会・予算特別委員会・経済分科会
- 11日(金) 経済委員会・予算特別委員会・経済分科会、建設環境委員会現地調査
- 15日(月) 建設環境委員会・建設環境分科会
- 18日(木) 予算特別委員会
- 24日(木) 本会議(委員長報告、質疑・討論・採決・閉会)